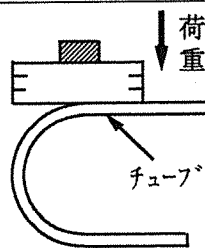


3. ファイバークロテクタの曲げ破壊荷重測定試験

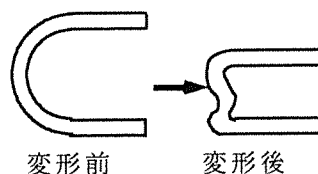
◎試験方法

万能試験機に、長さ200mmの試験片をU字型にして、圧縮用治具(50mm*10mm*80mm t)にて、圧縮速度20mm/分にて荷重をかけたその破壊状態を測定する。



◎試験目的

圧縮試験であり、曲げ圧縮荷重に対して破壊(折れ)の状態を見る。



◎試験結果

TYPE	レンジ kg	破壊荷重 kg	備考
KS-5N	100	43	35kgで変化を始める
KS-9N	100	65	40 "
KS-13N	100	74	48 "
SX-5N	200	80	56 "
IS-9N	200	90	65 "

表 - 3

※ファイバークロテクタの破壊強度の

1. ファイバークロテクタの引っ張り強度試験
2. ファイバークロテクタの圧縮破壊荷重試験
3. ファイバークロテクタの曲げ圧縮破壊荷重試験

は全て、試験機 (株) 島津製作所製 IS-10T及びRS-2に依り行った ものです。

※場所 千葉県機械金属試験場及び東京都工業技術センター

※日時 平成元年8月28日(千葉県機械金属試験場)

昭和59年12月12日(東京都工業技術センター)

※検査担当 株式会社 萩商会 清水

※注意 本データは参考値であり保証値ではありませんのでご注意願います。